

2024年11月26日
日興Web IR LIVE

トヨタ紡織株式会社

会社説明会

東証プライム 名証プレミア
証券コード 3116

目次

1. トヨタ紡織の概要
2. これからのトヨタ紡織
3. 株主還元

1. トヨタ紡織の概要_会社紹介

社名 トヨタ紡織株式会社
取締役会長 豊田 周平
取締役社長 白柳 正義

本社所在地 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

Vision

明日の社会を見据え、世界中のお客さまへ
感動を織りなす移動空間の未来を創造する

資本金 84億円	社員数 約56,000人（連結） 約9,000人（単独）	創業 1918年
グループ会社 23カ国 92社	連結売上収益 1兆9,536億円	連結営業利益 786億円

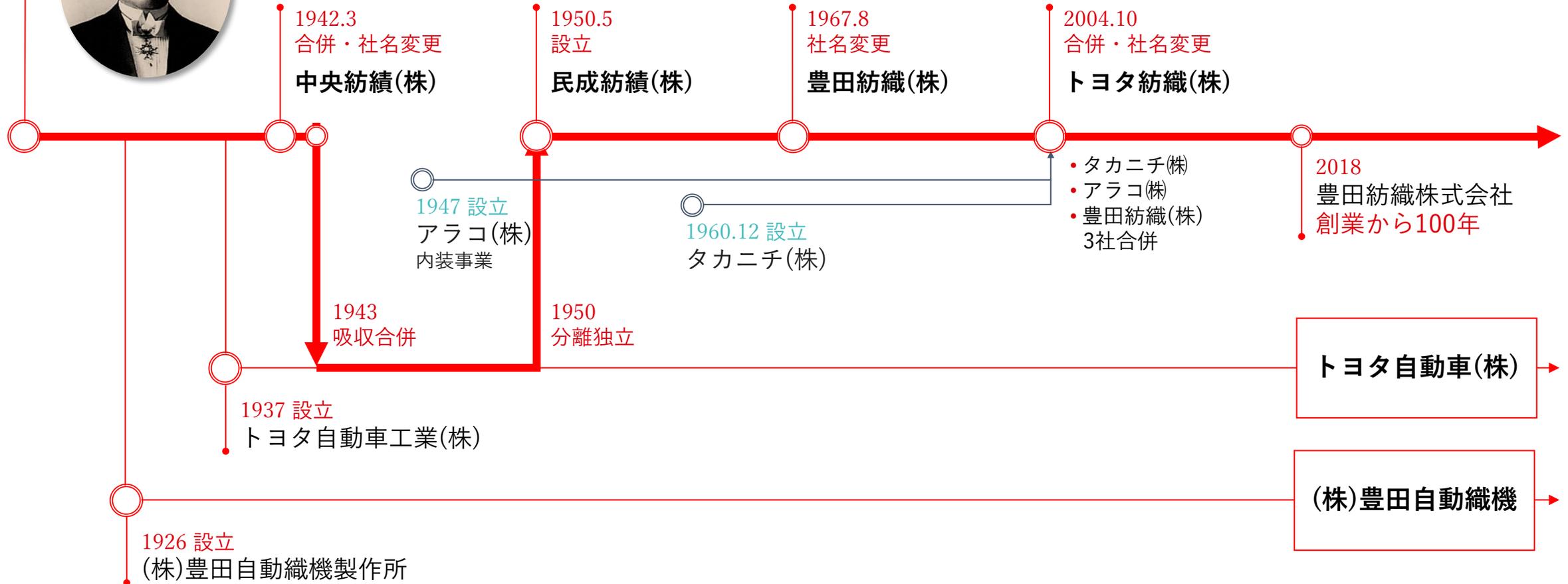
1. トヨタ紡織の概要_歴史

1918.1創業 豊田紡織(株)
創業者 豊田 佐吉



トヨタグループの創始者
創業の精神「世のため 人のため」

豊田綱領
(佐吉の考えをまとめた
当社の社是)



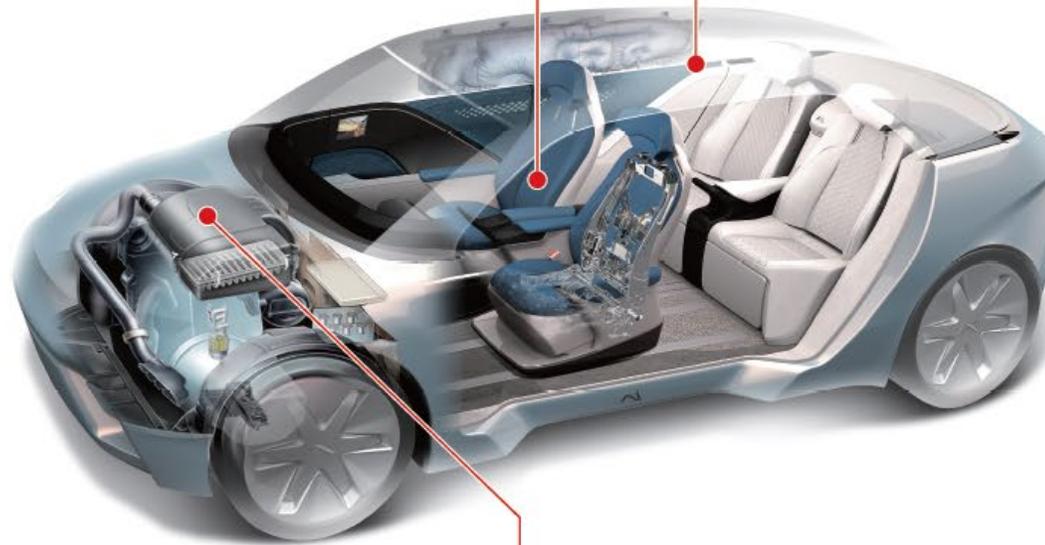
1. トヨタ紡織の概要_事業内容

(青字：2023年度売上実績)

シート製品 1兆4,902億円



シート



内外装製品 3,389億円



ドアトリム

バンパー

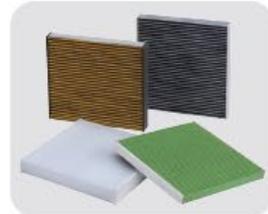
フィルター製品 1,243億円 (電動化製品含む)



エアフィルター



オイルフィルター



キャビンエアフィルター



エアクリナー

電動化製品



モーターコア

EV車用モーター部品



セパレーター

燃料電池車用 部品

自動車以外



鉄道車両用シート
(写真提供JR東日本)

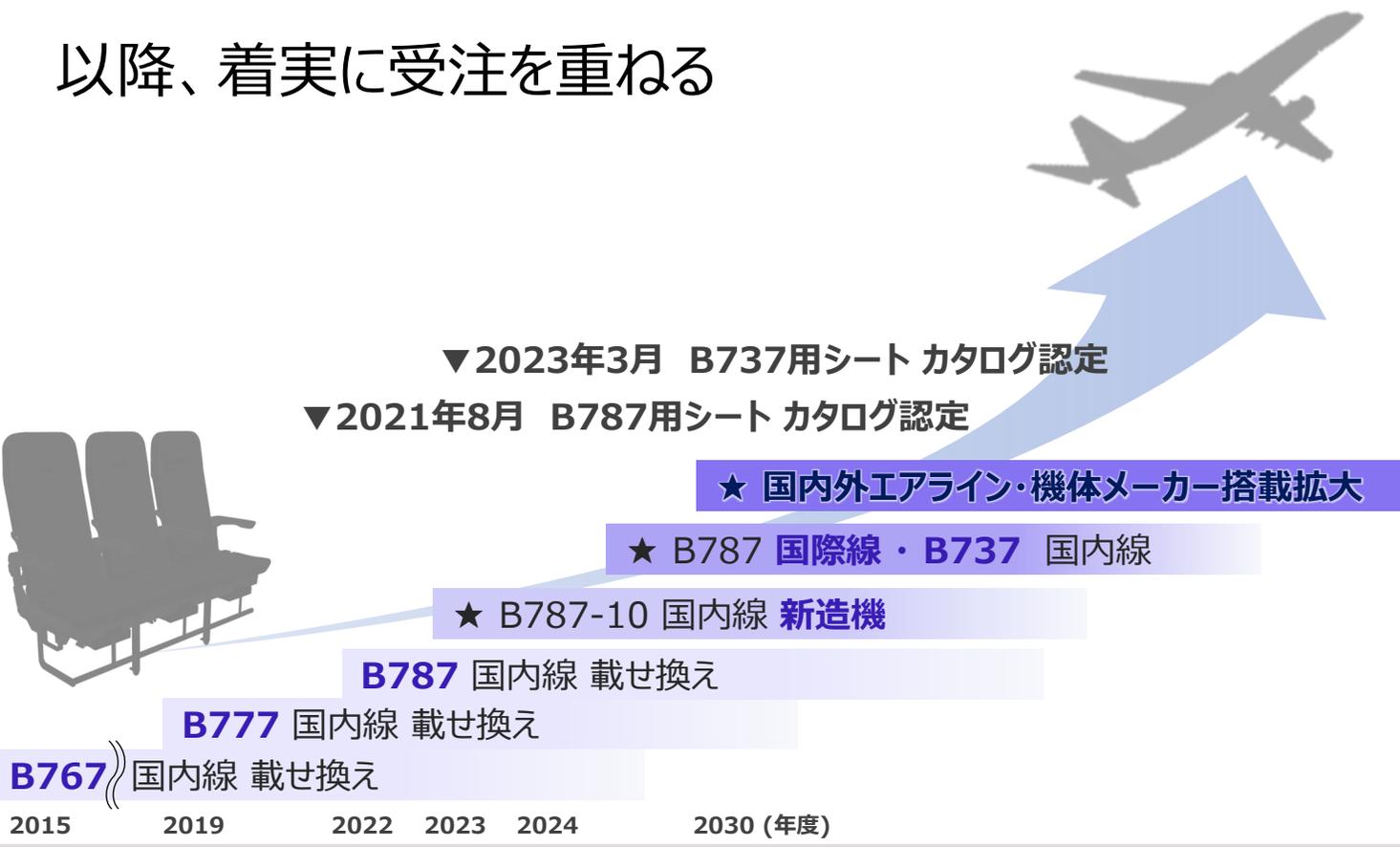


航空機用シート

1. トヨタ紡織の概要_事業内容 航空機用シート

2013年に初めて
国内エアライン向けにエコノミークラスシートを受注

以降、着実に受注を重ねる



1. トヨタ紡織の概要_市場シェア

自動車の内装品（シート、ドアトリム）では、国内トップです。
グローバルサプライヤーを凌駕する会社を目指しています。



国内 **1** 位 世界 **3** 位

出典:IHS

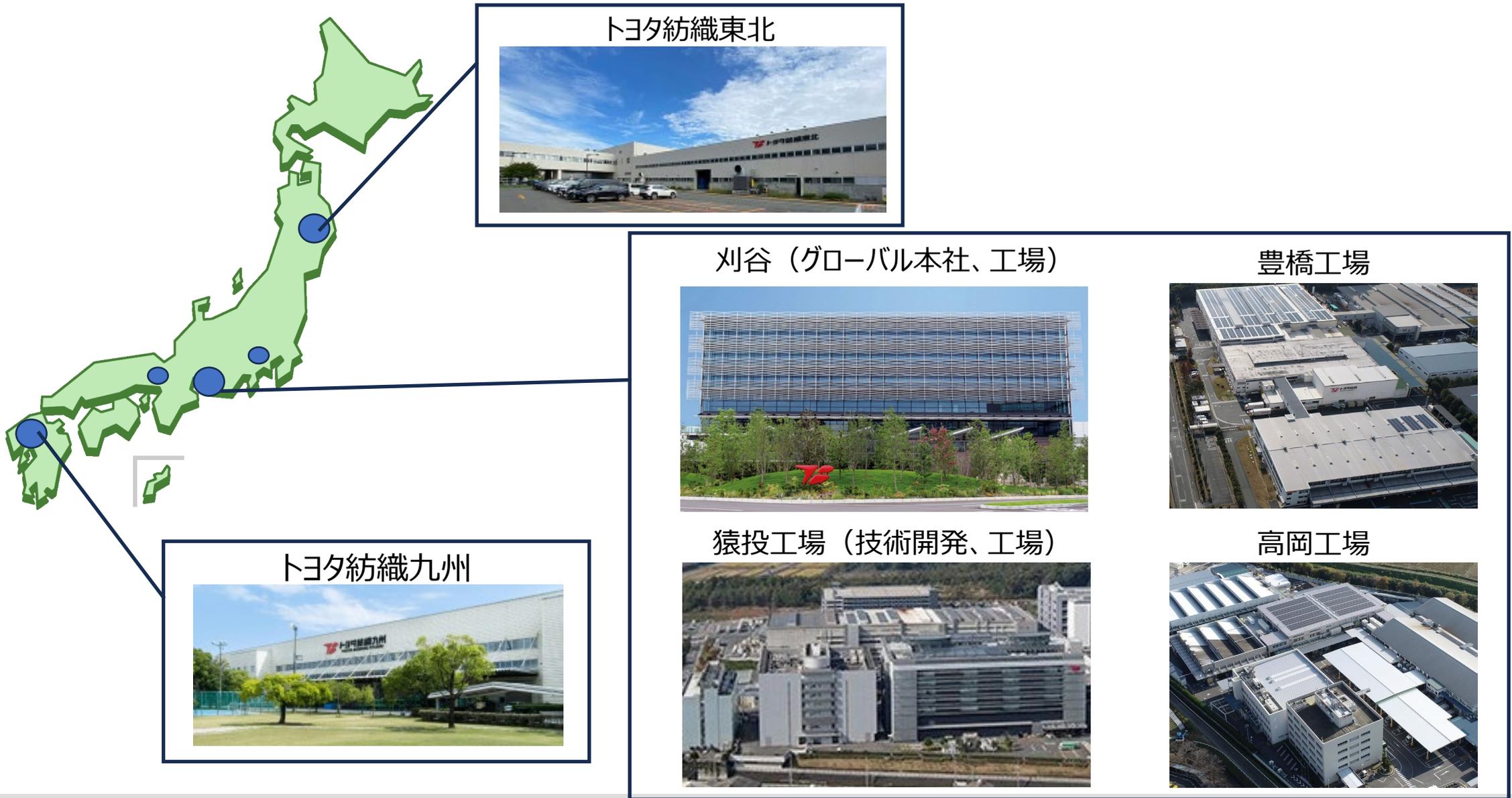
1. トヨタ紡織の概要_グローバルネットワーク

グローバルに展開し
世界中のお客様に
快適な車室空間を提供

グループ会社 92社
社員数 約5万6千人



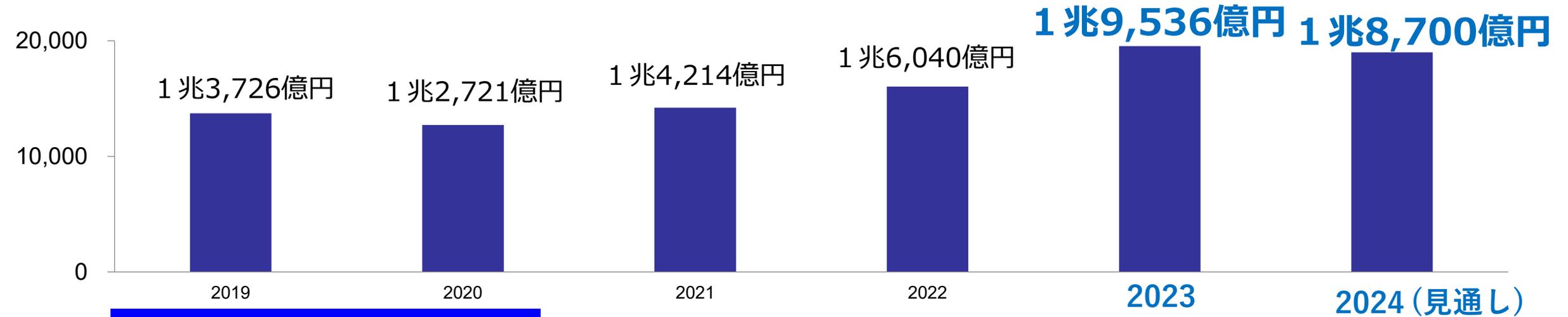
1. トヨタ紡織の概要_グローバルネットワーク 日本



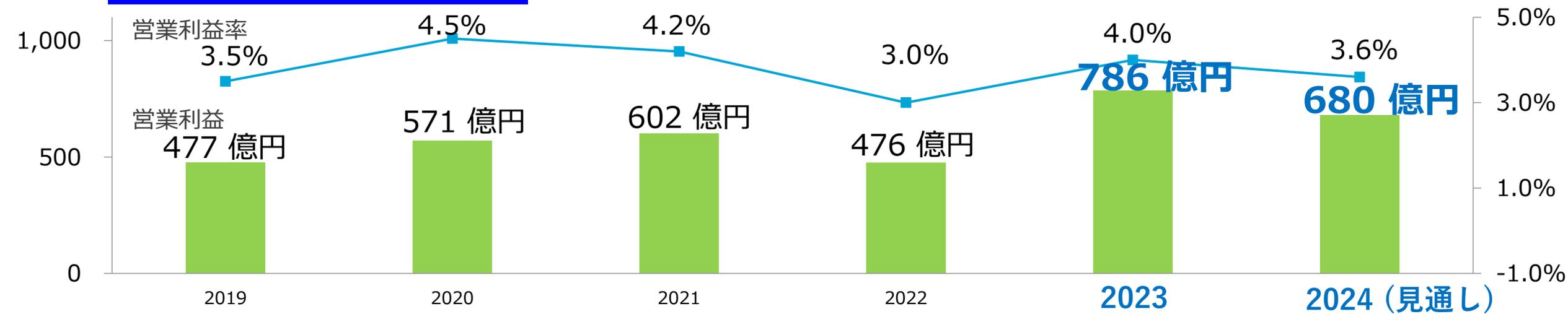
2. これからのトヨタ紡織_業績

過去5年間の、売上収益、営業利益、営業利益率

売上収益



営業利益/営業利益率



2. これからのトヨタ紡織_2030年中期経営計画

2030年目指す姿

インテリアスペースクリエイターとして快適な移動空間を実現し、
製品、顧客の幅を広げながら社会課題の解決に貢献している会社

2030年財務目標

売上収益	22,000億円
営業利益	1,500億円
営業利益率	7%
DOE	3%以上
	(配当性向30%程度を考慮)
自己資本比率	50%程度

(USD:135.00)

2030年非財務目標

E : Scope3排出量削減率	▲30% (2019年度比)
S : 女性管理職比率	5%
G : 行動指針の実践度	90%

支える土台

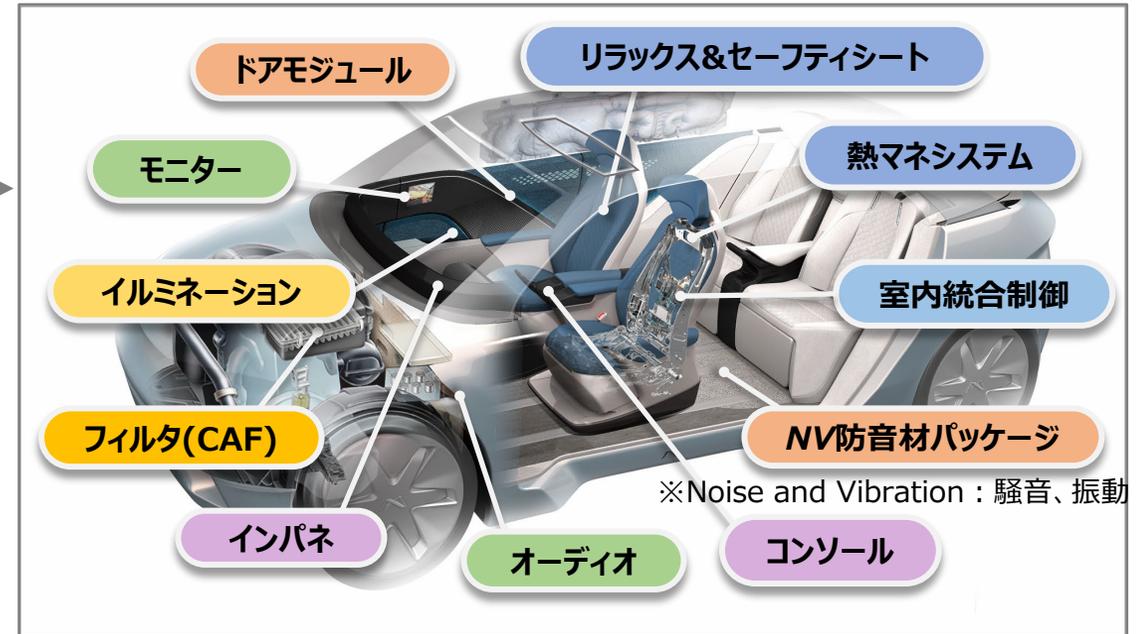
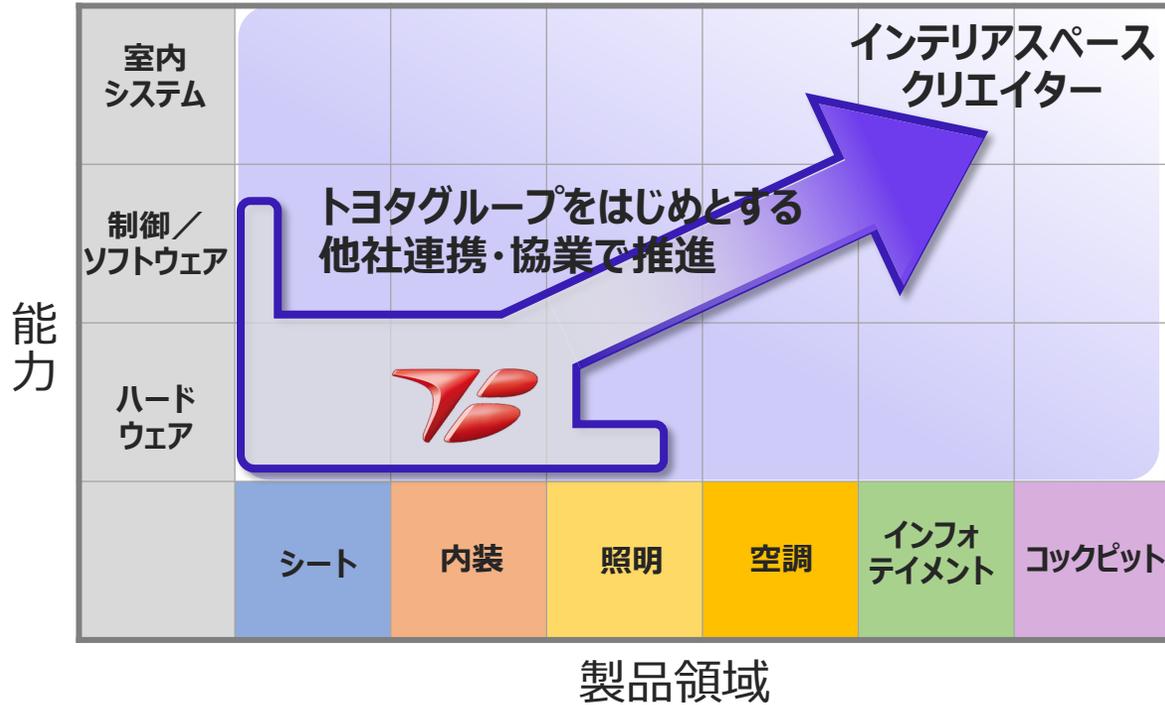
競争力(技術開発・販売・ものづくり)/経営基盤(人・組織・風土づくり)の強化

2. これからのトヨタ紡織_(1)企画提案力・技術開発力

インテリアスペースクリエイターとして車室空間全体を企画提案することで、
付加価値を向上し、売り上げの拡大を図る

ケイパビリティの拡大

室内システムで受注できる能力を獲得 (付加価値向上)



2. これからのトヨタ紡織_(1)企画提案力・技術開発力

企画提案力・
技術開発力
例 1

熱マネジメントシステム

サーマルコンフォートシート

暖房時



冷房時



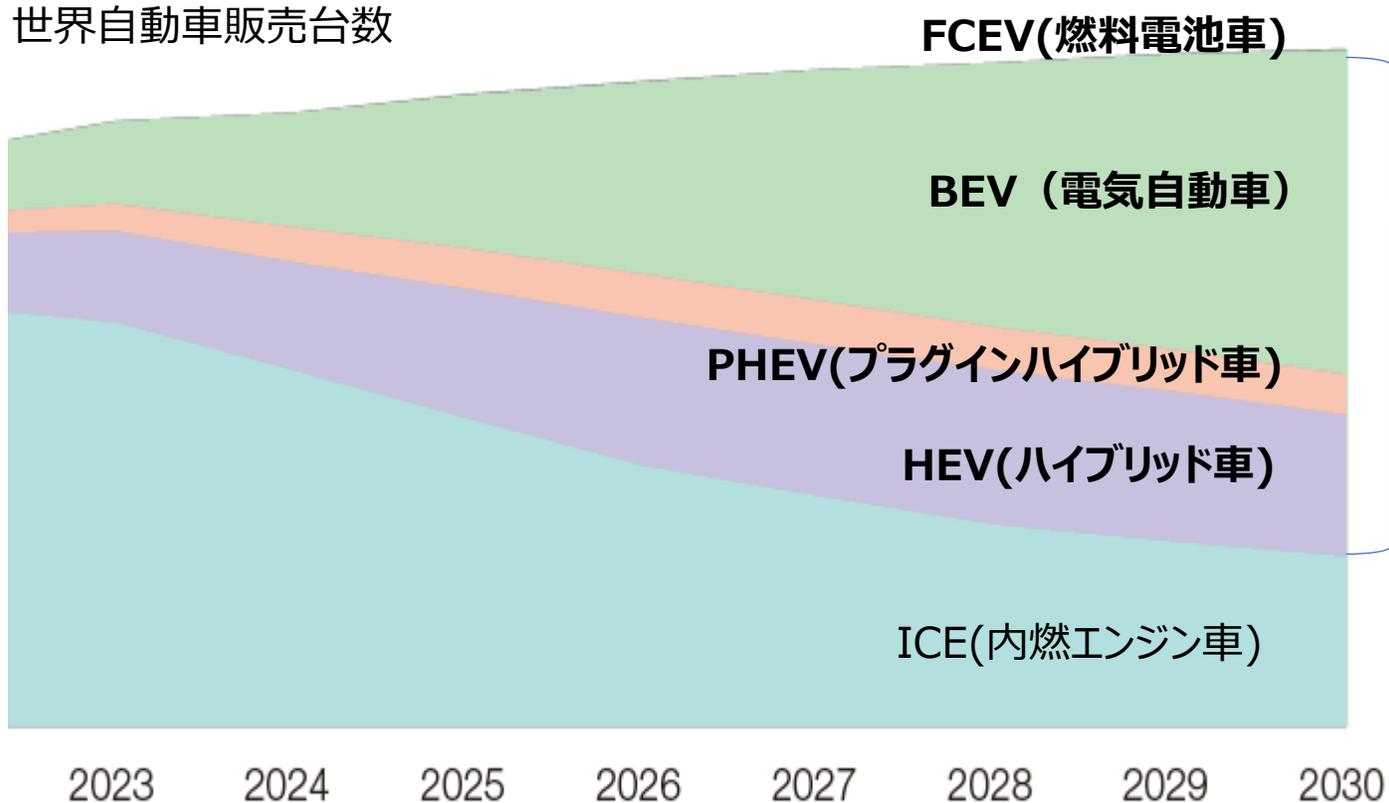
※ シート内部に装備されたファンで、背もたれと座面から空気を吸い込み、不快な蒸れを防止する機能

2. これからのトヨタ紡織_(1)企画提案力・技術開発力

企画提案力・
技術開発力
例2

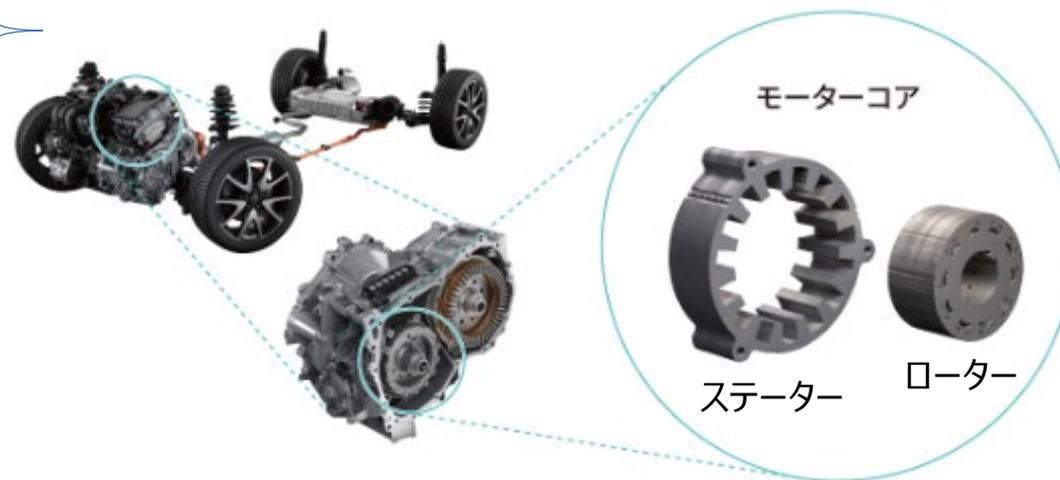
多様化する次世代のクルマづくりに追従し、適用できる技術・製品開発を推進

世界自動車販売台数



モータコア

HV (ハイブリッド車)、
BEV (電気自動車) 向けのモーター部品



2. これからのトヨタ紡織_(2)ものづくり競争力

事例①

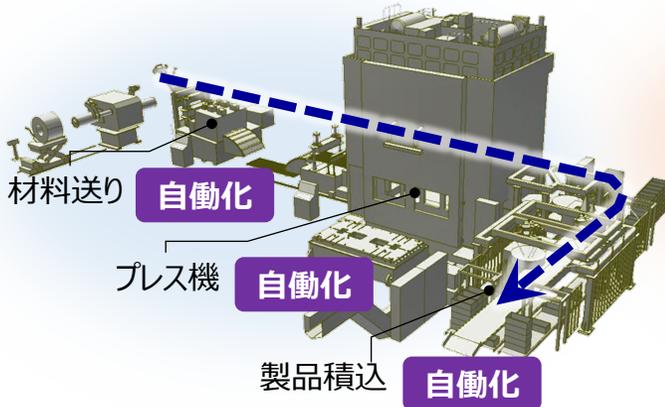
人・ロボットが共存した「誰もが働けるダイバーシティライン」の実現

TODAY 2025

2030

自動化とDX

プレス 23年度自動化完了



縫製 立体縫製 (リアルハプティクス)



生産集中管理

シート組立 検査の自動化 (センシング)

組付自動化 (協働ロボット)



2. これからのトヨタ紡織_(2)ものづくり競争力_物流の効率化

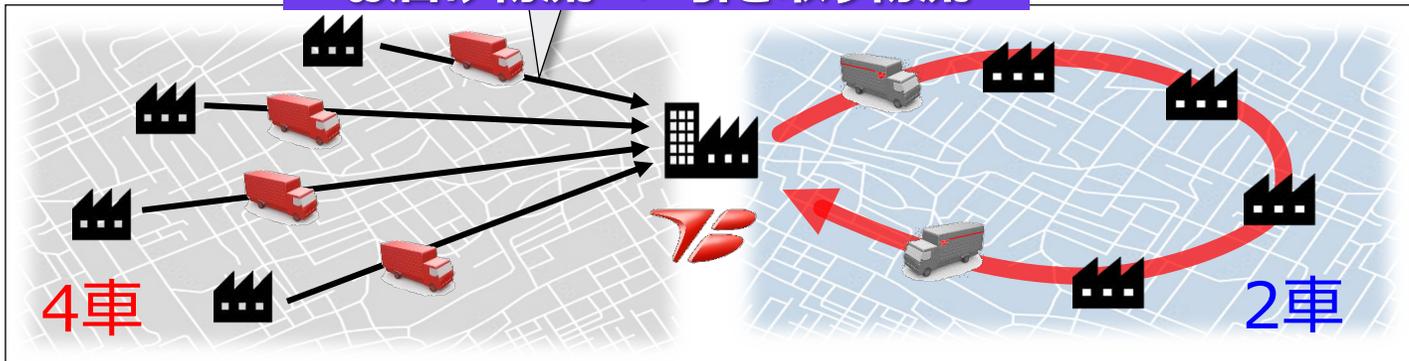
事例②

物流オペレーションのシステム化



最適な混載便の組み合わせとダイヤ表をスムーズに出力

お届け物流 → 引き取り物流



各社でそれぞれ納入 → TB便手配で引き取り

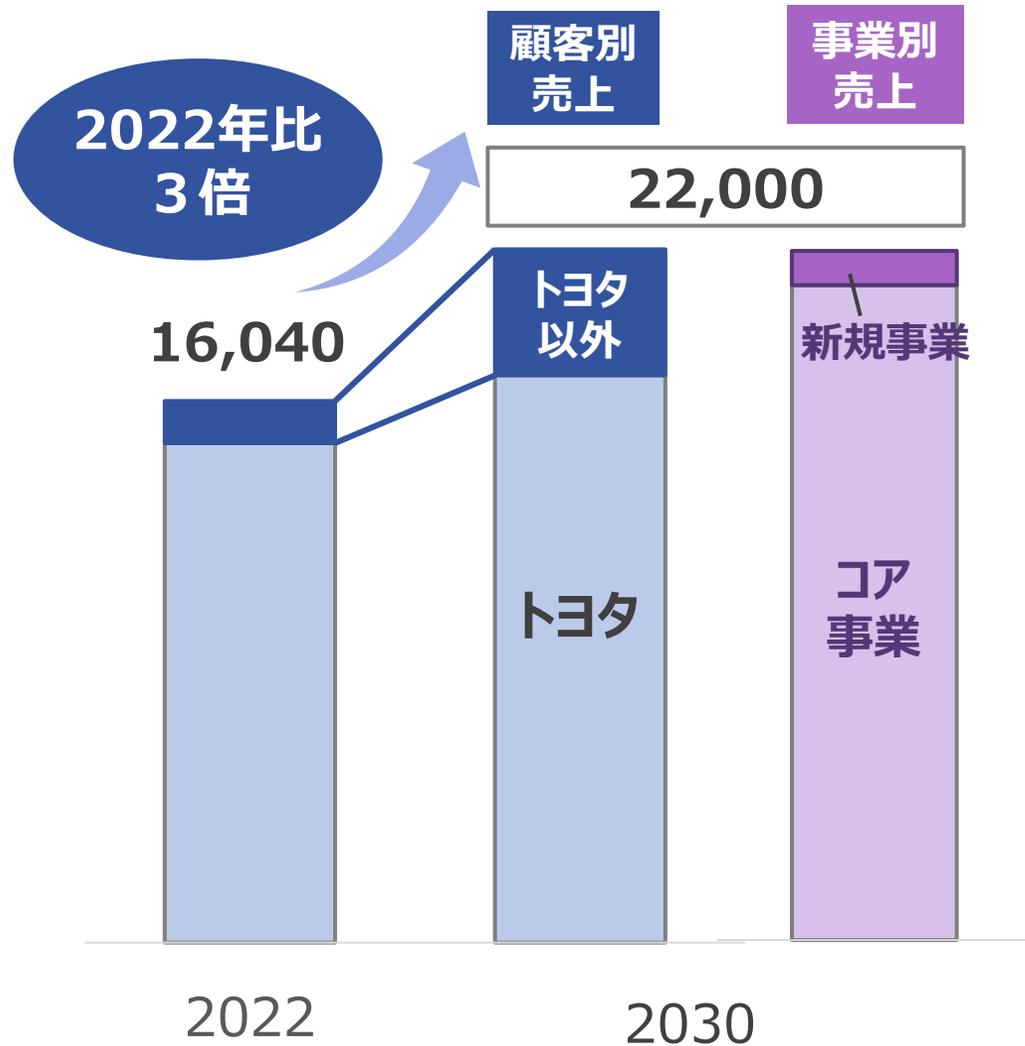
物流革新による
ドライバー不足、
物流CO₂削減への対応、
更なる競争力の獲得

高効率物流による
社会課題解決

2. これからのトヨタ紡織_(3)販売能力

〈売上収益目標〉

(億円)



ダイハツ、スズキ、スバル、マツダ
など日系メーカー、
欧州の**BMW**、などと取引あり

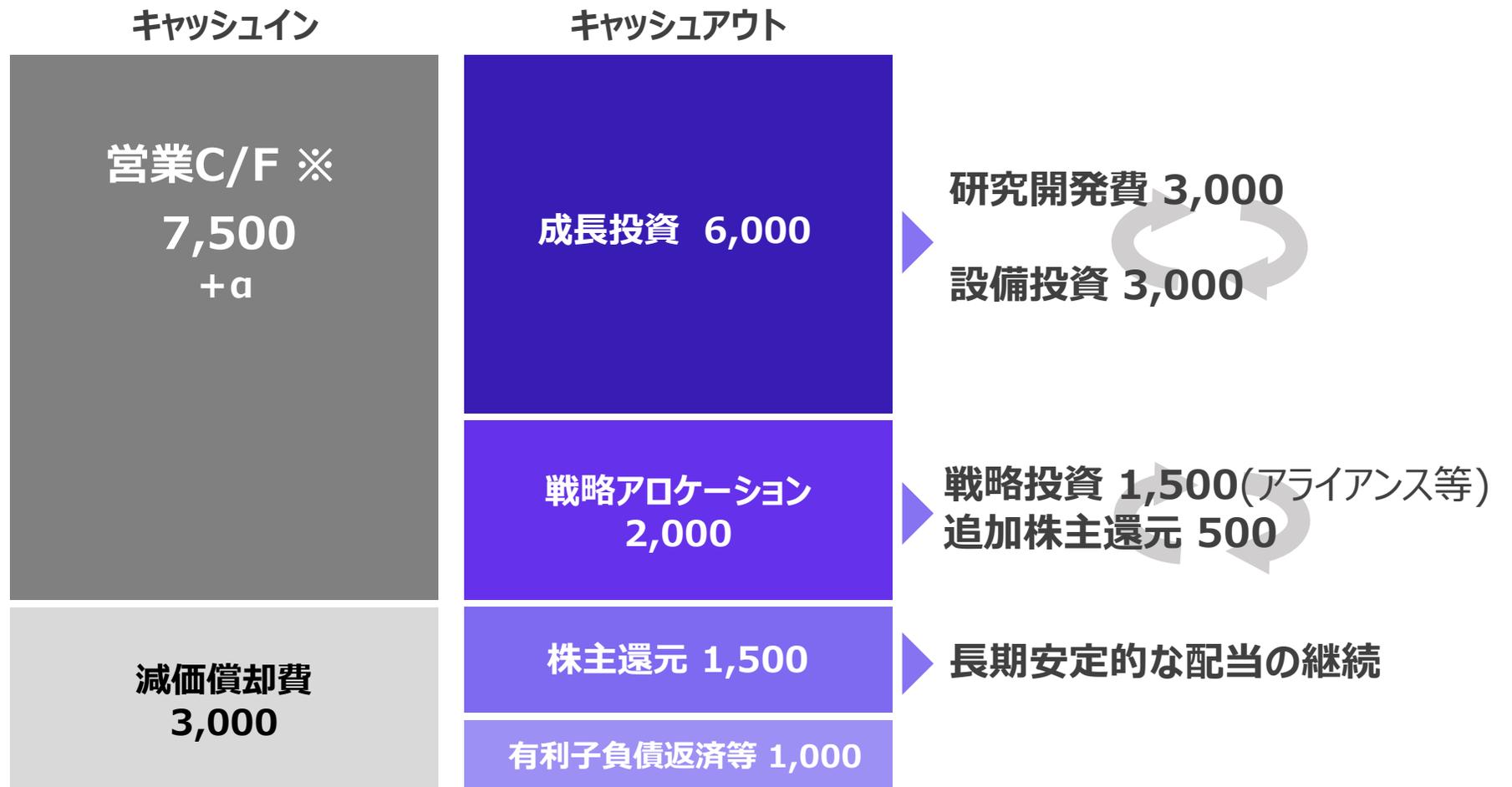
中国のEV車メーカーにも受注活動中

トヨタ以外のメーカーへの売上増加を目指す

創出したキャッシュを成長投資や経営基盤の強化、株主還元などへ

(26~30年度の5年間累計予測)
(単位: 億円)

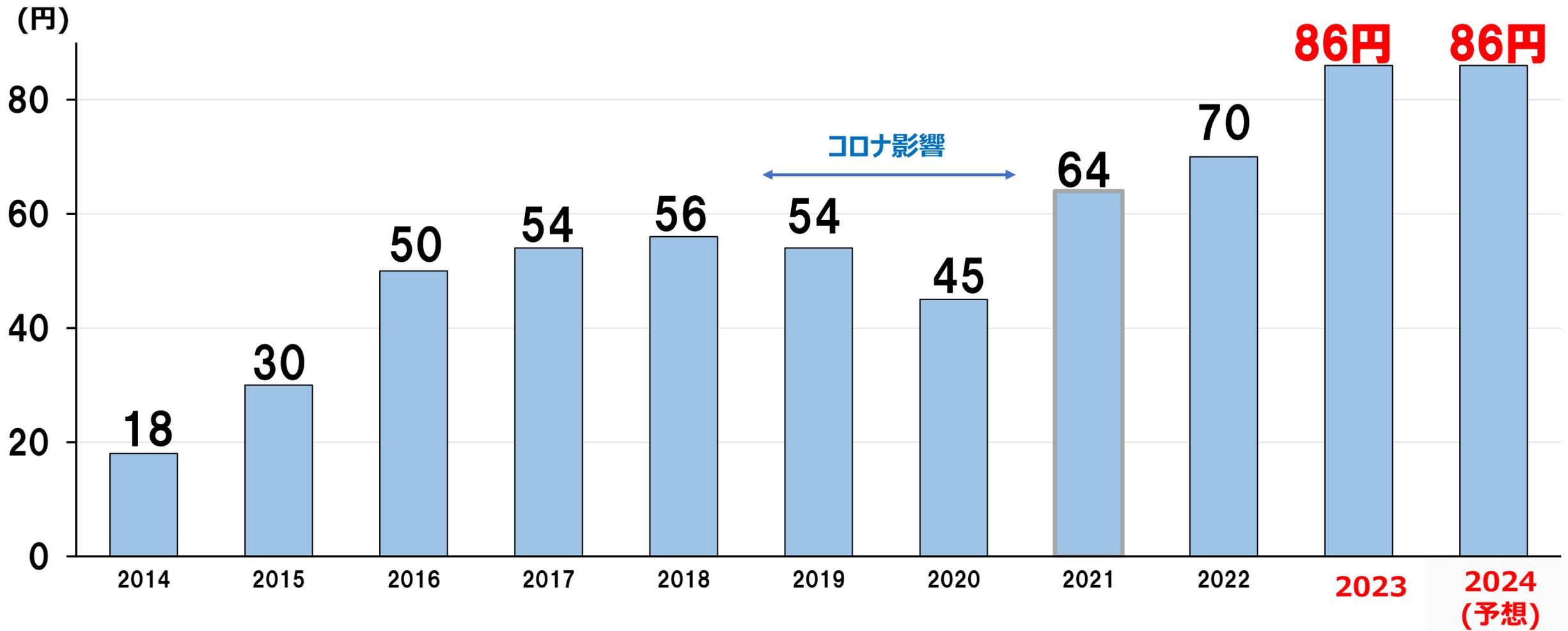
営業C/Fの最大化
経営戦略の実行による
2030年目指す姿の実現



※ 2030年度営業利益率7%達成前提

3. 株主還元_配当

長期安定的な配当を継続し、23年度と同額の年間86円を予定





＜注意事項＞

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。